**【　心のバリアフリー教室実施プログラム　】**

**―ステップ４　市民部会教室―**

■**学習の目標「深める」**

　困りごとは身体障がいの人だけでなく、自分の中にもあることを確認し、相手の気持ちを考えて自分が出来ることを考える。（行動する）

**■時間割**

・〇月〇日（〇）（授業は４５分）

※〇時〇分学校に到着予定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | クラス | 担任 |
| ２時間目  9:40～10:25 | １組 | Ａ先生 |
| ３時間目  10:45～11:30 | ２組 | Ｂ先生 |
| ４時間目  11:35～12:20 | ３組 | Ｃ先生 |

・〇月〇日（〇）（授業は４５分）

※〇時〇分学校に到着予定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | クラス | 担任 |
| ２時間目  9:40～10:25 | ４組 | Ｄ先生 |
| ３時間目  10:45～11:30 | ５組 | Ｅ先生 |
| ４時間目  11:35～12:20 | ６組 | Ｆ先生 |

■持ち物

・パソコン・・・・・・・・・１台

・ポインター・・・・・・・・１台

・延長コード・・・・・・・・１本

・紙メガネ・・・・・・・・・人数分　　※体験コーナー①で使用

・被りもの・・・・・・・・・１つ　　　※体験コーナー①で使用

・軍手　　　　　　・・・・・人数分　　※体験コーナー②で使用

・デジカメ（記録する場合）・・・・・１台

・ビデオカメラ（記録する場合）・・・１台

・三脚（記録する場合）・・・・・・・１脚

■**プログラム概要**

市職員教室で色々な人がいること、困りごと、得意不得意なことはそれぞれ違うことを学び、交流教室で身体障がいのある人との交流で、困りごとがあっても工夫したら一緒にできることがあることを学んだ。

市民部会教室では、目に見えない障がいの人も自分とは違う特別な人ではないこと、困りごとは自分にもあるという認識を、体験を交えて持ってもらい、相手の気持ちを考えて行動できるように、意識の変容を促す。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 内容 | 説明 |
| 2分 | **➀導入**  （１）これまでの振り返り  （２）自分事化 | ・市の職員教室のスライドを見せながら、これまでの授業で、色んな人がいて自分とは同じ人はいない、困りごとも得意なこと不得意なこともそれぞれ違うことを学んだことを、振り返り再確認してもらう。  ・交流教室で遊びを通じて、困りごとも工夫してできるようになることが分かったことを、再確認してもらう。  ・今まで身体が不自由な人と交流してきたが、目に見えない困りごとがある人もいること、困りごとはみんなにもあることを伝える。学校の中で自分も困ってしまうことがないか、子どもたちに聞き、困りごとを自分事として捉えてもらう。 |
|  | **②プログラム実施** | ・三つの学校での困りごとと体験を通じて、自分がその困りごとにどう対応するか、考えてもらう。  ・項目ごとに分けて実施。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 12分 | **（１）感じ方**  **～色々な物の感じ方、捉え方を学ぼう～**  **【こんなことないかな➀具体例の提示】**  掃除の時間に、窓を拭いて欲しいと言われた子、Aさんがいたが、窓の近くにあった図鑑に意識が向いてしまい掃除の手が止まってしまった。同じクラスのBさんCさんが声をかけるが、気づかないで集中している。  **【子どもたちへの問いかけ①】**  **【体験コーナー➀　Aさんの気持ちに気づく**  **～穴の空いた紙を見てみよう～】**  **【体験まとめ　みんなで考えてみよう！】**  **【子どもたちへの問いかけ②】**  **【子どもたちへの問いかけ③】**  **【まとめ】**  正面から声をかけて気づかせたり、名前を呼んで気づかせたりすると良い。 | ・興味があることに集中して周りが見えなくなる特徴があるお友達について学ぶ。  　色々な物の感じ方があることを学ぶ。  ・子どもたちに、学校で起こりそうな困りごとの具体例を、スライドで見せ提示する。  ・提示の後、子どもたちに具体例のようなことを経験したことがないか、どうして例のようなことが起こったか、問いかける。  ・困りごとを自分事化してもらうためにも、体験を通じて、Aさんがどのような物の見え方をしているのか、体験してもらう。  　（茅ヶ崎いんくる隊の、「ふしぎな世界をのぞいてみよう」のスライドを使用し、子どもたちには穴の空いた紙を顔につけてもらいスライドを見てもらう。いんくる隊のメンバーが子どもたちの周りを動く。次に子どもたちに眼鏡なしでスライドを見てもらい、何が周りで起こっていたか、説明する。  ※紙は授業の前に配布する。）  ・体験の後、子ども達に周りで何が起きていたのか、何故周りで起きていたことが見えなかったのか、聞く。  ・こんなことないかな➀の場面に戻り、Aさんには何が見えていたのか問いかけ、Aさんは興味のあることに集中しすぎしまい、掃除の手が止まってしまったことを伝える。  ・BさんCさんはAさんに対してどうやって声をかけたらいいか、問いかける。  ・BさんCさんがAさんにどうやって声をかけたらいいか、対応策を提示する。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 12分 | **（２）動作**  **～うまく動かせない体を感じよう～**  **【こんなことないかな②具体例の提示】**  Aさんが体育の授業の前に、体操服に着替えようとしたが、洋服のボタンがうまく外せなかったりして、授業に間に合わなかった。友達のBさんは早く着替えて先に行ってしまった。  **【子どもたちへの問いかけ①】**  **【体験コーナー②　Aさんの気持ちに気づく**  **～軍手をつけて折り紙を折ってみましょう～】**  **【体験まとめ　みんなで考えてみよう！】**  **【子どもたちへの問いかけ②】**  **【子どもたちへの問いかけ③】**  **【まとめ】**  着替えるまで待ってるよ！出来ない所は手伝  うから言ってね！先生に言っておくから慌てな  くていいよ、等、落ち着いて着替えられるよう  な優しい言葉を使うと良い。 | ・手先をうまく動かせなくて、細かい作業が苦手なお友達のことを理解する。  ・子どもたちに、学校で起こりそうな困りごとの具体例を、イラストや寸劇で見せ提示する。  ・提示の後、子どもたちに具体例のような経験をしたことがないか問いかける。  ・困りごとを自分事化するためにも、体験を通じて、手先がうまく動かない人の感覚を体験してもらう。  　（子どもたちには大人用軍手を２枚重ねてつけてもらい、１分で紙ヒコーキを折ってもらう。「出来なかったらこっちでやっちゃうからね。」「みんな終わってるよ。」など焦らすような声かけを、講師一人が行う。  　※折り紙、軍手は授業の前に配布する）  ・体験の後、子どもたちにうまく折り紙が折れたか、講師からの声かけはどう感じたか感想を聞く。もっときつい言葉をかけられたらどう感じるか、聞く。  ・こんなことないかな②の具体例の場面に戻り、Aさんが何に困っているのか、子ども達に問いかけ、Aさんは手先がうまく動かせなくて、細かい作業が苦手なのでうまく着替えられないことを伝える。  ・BさんはAさんにどういう言葉をかけたらいいか、子ども達に問いかける。  ・BさんがAさんにどういう言葉をかけたらいいか、対応策を提示する。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 12分 | **（３）コミュニケーション**  **～相手に伝わる伝え方、話し方を学ぼう～**  **【こんなことないかな③　具体例の提示】**  初めてのクラブ活動の日に、日直さんがそれぞれのクラブがどこに集合するのか説明して、みんなはそれぞれの場所に移動したが、Aさん一人だけ教室に取り残されてしまった。  **【子どもたちへの問いかけ➀】**  **【体験コーナー③　Aさんの気持ちに気づく**  **～言葉を絵に書いてみましょう～】**  **【子どもたちへの問いかけ②】**  **【まとめ】**  言葉がうまく伝わらない時は、伝わりやすい言葉、どうすればいいか分かる言葉を使う。 | ・うまくお話ができないお友達とお話できるようになる方法を勉強する。  ・子どもたちに、学校で起こりそうな困りごとの具体例を、スライドで見せ提示する。  ・提示の後、子どもたちに具体例のような経験をしたことがないか問いかける。  　Aさんはどうして分からなかったのか、問いかける。  ・困りごとを自分事化するためにも、体験を通じて、Aさんの気持ちに気づく。  ・「ブランコ」「このあいだ」「ボール」「前と同じもの」などの単語を紙に子ども達に10秒で書いてもらう。  ・体験の感想を子ども達に問いかけ、具体例を挙げながら絵に書ける言葉は相手にも伝わりやすい言葉で、絵に書けない言葉は相手にも伝わりにくい言葉であることを伝える。  ・次に茅ヶ崎いんくる隊の「紙芝居」のスライドを使い、子ども達に問いかけながら伝わりやすい言葉、伝わりにくい言葉について学ぶ。  ・こんなことないかな③の具体例の場面に戻り、体験を元に、日直さんはAさんにどういう言葉を使ったらいいか、問いかけ考えさせる。  ・日直さんはAさんにどういう言葉を使ったらいいか、具体例を示し提示する。 |
| 2分 | **③まとめ**  **【プログラムの内容の振り返り】**  **【心のバリアフリー教室のまとめ】** | ・プログラムの内容を振り返る。  ・学校や自分の生活の中にも困りごとがあることに気づけたか。  ・周りの人が困っていた時は、今回の体験で学んだことを参考にして欲しいことを伝える。  ・市の職員が、今までの教室で学んだことをおさらいしまとめ、4回続いた心のバリアフリー教室を締めくくる。 |
| 5分 | **③振り返り**  学習カードステップ４の記入 |  |